

原子炉利用研究者グループ幹事会 議事録

日時： 平成 30 年 1 月 22 日(月) 12 時 15 分～12 時 40 分
場所： 京都大学原子炉実験所 図書棟会議室
出席者： 藤井俊行、佐々木、福本、鈴木、齊藤、田中、増永、木野村、
藤井紀子、杉山、高宮、北村（事務局）

配布資料：

- ・平成 29 年決算報告書/平成 30 年予算(案) [資料 1]
- ・前回(平成 29 年 1 月 23 日)原子炉利用研究者グループ幹事会
(新旧幹事合同) 議事録

議事：

1. 平成 29 年(H29. 1. ～H29. 12.)会計報告

田中会計担当幹事から資料 1 にもとづき平成 29 年の会計報告について説明がなされた。

櫻井総務担当幹事から、会計監査も終了しているとの報告がなされた。

福本幹事より、収入として前年度繰越金とその預金利息以外にはないのかとの質疑があり、櫻井総務担当幹事から現在は収入がないと回答があった。

福本幹事より、資金を使い果たしたら運営をどうするのかとの質疑があり、櫻井総務担当幹事から過去のグループ幹事会での議論において残額が少なくなったら検討することになっているとの回答があった。

櫻井総務担当幹事から、支出のうち額の大きい短期研究会等運営費に関して、昨年のグループ幹事会にて原子炉利用研究者グループから抛出するのはおかしいのではないかと意見があったことから、短期研究会等運営費の予算の出どころを検討するよう所長へ伝えたとの報告があった。

2. 平成 30 年の予算(案)

田中 会計担当幹事から資料 1 にもとづき平成 30 年の予算(案)について説明がなされた。

3. 名誉会員の推薦について

櫻井総務担当幹事から、所外の共同利用者で、今年度退職される方で名誉会員に推薦すべき方がおられたら次回の総会までに連絡してほしいとの依頼があった。

4. その他

・鈴木幹事から、原子炉棟ホットラボロビーに設置されているロッカーの数を増やしてはどうかと提案され、櫻井総務担当幹事から共同利用掛へ要望として伝えることになった。

・高宮幹事から、原子炉棟ホットラボロビーの共同利用セミナー室は共同利用者の利用が優先されるべきであるので、原子炉運転週はの所員の利用を控えるようホットラボ関係者から提案があり、共同利用掛から掲示がされることとなっているが、所内に会議室が不足しているのであれば実験所として対応が必要ではないかとの意見があった。

・藤井代表幹事から、共同利用研究者宿泊所の利用に関して、夜間の出入り時に玄関の解錠時の警告音や廊下の人感センサーによる照明の点灯が気になる利用者があるようだとの報告があり、警告音は仕方ないが廊下の照明が部屋に入ってこないよう窓に小さなカーテンを設置するなど遮光できないかとの意見が提案され、櫻井総務担当幹事から徐宿舎・利用環境担当幹事へ共同利用掛と検討するよう依頼するとの回答があった。また、テレビや無線 LAN の利用環境について現状での使い勝手を所外の幹事の方々に伺ったところ、特に問題はないとの回答があった。

・鈴木幹事から、宿舎の予約状況を web から確認できるようにしてはどうか、という提案があった。実現すれば所内担当者や共同利用掛への問い合わせの電話がなくなることで省力化になるとの意見があった。

・櫻井総務担当幹事から、事務局担当の北村さんは今年度で退職となる予定であるが、鶴田さんが後任として担当していただけることになったとの報告があった。

以上